

ふる と の



町花：山百合

議会だより

6月定例会

No.164

令和5年7月20日

令和5年度国保税率などを可決	2
一般質問：主要事業など5議員が10問	9
追跡レポート：フルドノタイムで交流人口拡大は	15
まちの企業紹介：岡部自動車钣金塗装	16



みんなでゴールを目指して（5月20日古殿小学校大運動会）



6月定例会

6月定例会は9日から15日まで、7日間の会期で開催されました。国民健康保険税条例の一部を改正する条例、一般会計第2次補正予算など、16議案が原案の通り可決され、15日に閉会しました。

国保税1人あたり約7,200円の引き上げ

国保税額 (単位:円)

区分	平等割	
	旧	新
医療分	18,800	19,200
支援分	7,000	8,200
介護分	5,200	6,400

※平等割は全世帯が等しく負担する金額。そのほか世帯での加入数に係る均等割、前年度の所得に係る所得割なども引き上げられます。

議案第38号
**古殿町国民健康保険税
条例の一部を改正する条例**

国保加入者は減少しており、基金を取り崩したものの、医療費の推移が高い状況であるため、国保税率を前年度から5%引き上げるもの。

質疑

Q 条例改正に至った理由は。

A 令和4年度の決算見込み額、加入者や医療費などの動向を勘案すると、支出額を現在の税率でまかなうことが難しいためです。

Q 支出額は増えているのか。

A 県への納付額は減っているものの、令和4・5年度の医療費が著しく上がっています。コロナ禍以前の受診頻度になっていると考えられます。

Q 基金の残額は。

A 約1300万円です。

Q 基金の扱いはどうなるのか。

A 令和11年度に国保税率を県内一律にする検討をしており、併せて基金の扱いについても検討しています。

月々の医療費の支払いが間に合わないときのため、令和11年度まで基金はある程度保有したい考えです。

討論

反対 岡部 淳一 議員

町民の理解が得られない

物価高騰で生活費の負担が増えている中で、2年連続国保税の引き上げは、町民の理解を得られない。何としても下げるべきとして、反対します。

議案第52号
**国民健康保険
特別会計
第1次補正予算**

歳入歳出それぞれ68万6000円減額し、総額を5億6137万7000円とするもの。

質疑

Q 1世帯、1人あたりの国保税の引き上げ額は。

A 1世帯あたり約77774円、1人あたり約7263円になります。

賛成

佐藤 弘信 議員

負担軽減が図られている

加入者が毎年度減少しているにも関わらず、1人あたりの医療費は30万円を超えているため、基金を取り崩すなどして加入者の負担軽減を図っていることから賛成します。

起立多数

可決

討論

反対 岡部 淳一 議員

町民の生活を守る

町民の生活を守るためには、払えるような国保税の水準にすべきとして反対します。

賛成

佐藤 弘信 議員

国保財政の維持

国保の財政を維持するにはやむを得ない措置であるとして賛成します。

起立多数

可決

1人1万円の商品券配布事業など

議案
第51号

古殿町一般会計 第2次補正予算

歳入歳出それぞれ6592万6000円を増額し、総額を42億5134万2000円とするもの。
町民1人に1万円の商品券を配布する電力・ガス・食料品等価格高騰対策商品券事業委託料5000万円の増などが主なもの。

質疑

商品券事業は商工活性化につながるか

Q 過去に町民の方が商品券を使った店舗は町内資本か。

A 1番使われたのが町外資本店舗で約25%、2番目は町内資本店舗で約20%となっています。

Q 小規模事業者に恩恵がないのでは。

A 冬は町内の燃料店で使われることが多いですが、利用者の判断にお任せざるを得ないのが現状です。でき得る対応を考えております。

全員賛成 可決

人事案件

議案
第42号から
第49号まで

農業委員会委員 の任命について

水野	幸栄	(大久田字花房)
根本	明	(山上字竹貫田)
遠藤	光一	(山上字百目鬼)
水野	和徳	(論田字中ノ町)
石井	利行	(仙石字浜井場)
荒川	一寿	(田口字青柳)
中瀬	信治	(松川字美沢)
我妻	弘道	(竹貫字千足)

※敬称略
※公募受付順

〔任期〕
令和5年7月20日～

令和8年7月19日

全員賛成 同意

福島県町村議会 議長会表彰

地方自治の発展に功労があったとして、福島県町村議会議長会表彰を受けた3議員への伝達が6月議会開会前に行われました。



町村議会議員
11年以上在職功労者
緑川 栄一議員



町村議会議員 20年以上在職功労者
佐藤 一夫 議員 岡部 淳一 議員



6月定例会

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	1 鈴木	2 常盤	3 松崎	4 野崎	5 藁谷	6 佐藤(弘)	7 矢内	8 佐藤(-)	9 岡部	10 木戸	11 佐川	12 緑川
議案 第37号	古殿町税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地方税法等の改正に伴う森林環境税の賦課徴収などの所要の改正													
議案 第38号	古殿町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
	P 2 に掲載													
議案 第39号	古殿町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	こども家庭庁設置による文言等の改正													
議案 第40号	古殿町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	基準の一部改正により、安全計画の策定等について改正するもの													
議案 第41号	古殿町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	基準の一部改正により、安全計画の策定等について改正するもの													
議案 第42号 ～ 第49号	農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	P 3 に掲載													
議案 第50号	福島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び組合格約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	田村広域行政組合の解散により、組合格約を変更するもの													
議案 第51号	令和5年度古殿町一般会計第2次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	P 3 に掲載													
議案 第52号	令和5年度古殿町国民健康保険特別会計第1次補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	
	P 2 に掲載													
発議 第3号	「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	令和6年度も事業を継続するよう要請するもの													

第2回臨時会

○は賛成、×は反対、緑川議長は採決に加わらない。

議案番号	議案名	採決	1 鈴木	2 常盤	3 松崎	4 野崎	5 藁谷	6 佐藤(弘)	7 矢内	8 佐藤(-)	9 岡部	10 木戸	11 佐川	12 緑川
議案 第29号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度古殿町一般会計第7次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事業確定により1億631万3,000円を増額し、総額を47億1,839万円とする													
議案 第30号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度古殿町国民健康保険特別会計第5次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事業確定により564万9,000円を減額し、総額を5億7,967万1,000円とする													
議案 第31号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度古殿町簡易水道特別会計第4次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事業確定により1,595万1,000円を減額し、総額を1億2,920万9,000円とする													
議案 第32号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度古殿町農業集落排水事業特別会計第4次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事業確定により836万8,000円を減額し、総額を1億3,022万2,000円とする													
議案 第33号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度古殿町林業集落排水事業特別会計第3次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事業確定により151万円を減額し、総額を2,642万4,000円とする													
議案 第34号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度古殿町介護保険特別会計第4次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事業確定により45万3,000円を減額し、総額を8億7,410万9,000円とする													
議案 第35号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度古殿町後期高齢者医療特別会計第3次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	事業確定により9万8,000円を増額し、総額を6,174万4,000円とする													
議案 第36号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度古殿町一般会計第1次補正予算)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	P5に掲載													

5月25日

議会臨時会

町長の施政方針表明や専決予算など

岡部町長は6期目の就任にあたり、豊かで住みよいふるどのを目指し、初心に返った町民目線の町政、町民の方との対話を大切にした町政運営に努めたいと述べました。また、専決予算の議案審議が行われました。

議案
第36号

専決処分の承認を求めることについて(令和5年度古殿町一般会計第1次補正予算)

コロナワクチン集団接種事業や、低所得の子育て世帯生活支援特別給付事業補助金により1,241万6,000円を増額し、予算総額を41億8,541万6,000円とするもの。

低所得の子育て世帯支援

Q 低所得として国が支援する子育て世帯はどういう世帯か。

A 今回の専決で対象となるのは、令和4年度の「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」に該当した21人の子どもに対する追加給付として、改めて5万円を支給します。

全員賛成

承認

6月9日

議会全員協議会

介護保険料の賦課誤りについて協議

介護保険料の賦課誤りについて

住民基本台帳のシステムと介護保険システムのデータ連携の不具合により、本来反映されないはずの所得情報が保険料の算定時に反映され、平成23年度から令和4年度までの12年度間で、8年度分153,600円を過大に徴収していた。

その後の対応

- 5月25日に町長より町議会に説明
- 該当者の方へ説明および謝罪
- 了解を得て6月5日に返金
- 原因は入力ミスによる
ヒューマンエラー
- 今後はデータ連携の際に職員の
チェックを徹底

Q 今後も発生しうるのか。

A 平成28年から採用しているシステムになってからは、同様のエラーはなくなりました。

Q 情報の公開についてどう考えるか。

A 議員の皆さんに報告し、その結果をマスコミに発表する予定です。

農業機械導入支援について協議

古殿町農業機械導入支援事業補助金

地域の農業を担う者として人・農地プランに位置づけられた認定農業者、中心経営体へ農業用機械の導入を支援するもの。対象となるのは経営面積で個人3ヘクタール以上、法人15ヘクタール以上。補助率は2分の1で上限は500万円。

変更のあった点

- 補助金の上限は法人、個人で区別せず一律500万円とする
- 補助率を3分の2から2分の1とする
- 今年度予算では5事業体のみを対応し、原則補正はしない

Q 転作した田や畑は経営面積に入らないのか。

A 水稻作付部分のみになります。

Q 補助金は毎年受けられるのか。

A 補助金要綱を定めて1人につき支援回数の制限などを見直し、仕組みづくりをします。

Q 補助率を変更した主な理由は。

A 新たに始まった事業として、一定程度、農家さんに負担していただくものとなりました。

議会だより編集特別委員会研修

伝わる企画と紙面編集とは

議会だより編集特別委員会は6月27日に福島市とうほう・みんなの文化センターで町村議会広報研修会に参加しました。

福島県町村議会議長会が主催し、一般社団法人自治体広報広聴研究所の金井茂樹氏を講師に迎え、伝わりやすい紙面構成についての説明や、6町議会広報の講評を通して紙面づくりを学びました。

内容

- 分かりやすい見出しを入れる
- 写真やグラフを活用する
- 整合性・統一性を持たせる



紙面づくりを学ぶ委員

議員と町幹部職員の奉仕活動



草刈り作業中の議員

草刈りを行いました

6月19日に議会議員と町幹部職員が合同で大網庵周辺の草刈りを行いました。景観がよくなり、利用者が気持ちよく使えるようになりました。

常任委員会の活動

「道の駅 季の里天栄」を視察

総務常任委員会は天栄村でリニューアルオープンした「道の駅 季の里天栄」を視察しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。また、付託された請願1件を採択としました。



道の駅の新店舗について説明を受ける議員

意見

- 鉄骨造りはシンプルでよい
- 結露しない建設が必要
- 財源は持ち出しが少なくなる工夫を

(株)サンライフの貯木場等を視察

産業建設常任委員会は(株)サンライフの貯木場、町営住宅西渡団地建替事業、町道越代熊倉線を視察し、状況を確認しました。現地視察後、視察箇所について意見交換をしました。



会社の事業内容について説明を受ける議員

意見

- 林業の展望が開ける
- 町の林業への協力・支援体制が大切
- 後継者の育成が必要

一般質問



町政を質す

- 町民の声を伝える
- 町政に生かす
- 町の考えをたずねる

一般質問は6月14日に5人の議員が10問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 鈴木 隆 議員 12 | 鈴木 隆 議員 12 |
| (1) 交通安全対策及び道路維持管理について | (1) 交通安全対策及び道路維持管理について |
| (2) 町長の所信表明について | (2) 町長の所信表明について |
| (3) A I活用について | (3) A I活用について |
| 佐藤 一夫 議員 10 | 藁谷直吉 議員 13 |
| (1) 岡部町政が目指す施策と将来像は | (1) 町の活性化について |
| | (2) 花粉対策について |
| 野崎喜彦 議員 11 | 岡部 淳一 議員 14 |
| (1) 町長6期目の決意と町の将来を見据えたビジョンを問う | (1) 町民生活の現状と今後の町政の方向性 |
| (2) 学校教育の現況と課題について | (2) 負託された責任における施策実施の方向性 |

Q 岡部町政が目指す 施策と将来像は

町政運営

A 町民の方が幸せと感ずることが 大事と考えます



さとう かずお
佐藤 一夫 議員

5期20年の経験と実績に立った、今後の町政運営の舵取りを伺う。

佐藤 長期にわたる任務をどう評価し、活かしていくのか。

町長 小学校の統合が大きな事業であり、東日本大震災、原発事故、台風19号による災害、新型コロナウイルス感染症と、まさしく有事の時であったと感じています。

これらの経験を踏まえ、町民福祉向上のため町政を進めていきます。

佐藤 早急に実施すべき課題と、長期ビジョンの視点で取り組む施策の考えは。



新入生 14 人の古殿小学校入学式

町長 喫緊の課題としては、経済対策、道の駅の整備を前進させたいと考えます。

長期ビジョンについては少子高齢化、人口減少等は避けて通れない課題です。

佐藤 わが町の将来像をどう描いているのか。

町長 その時々々の政治、行政の流れにより、自治体の集約化等の議論が湧き上がってくることは予想しますが、まずはこの町で暮らしている住民の方が幸せと感ずることが大事と考えます。



町の将来を担う子どもたち

Q 町長6期目の決意とビジョンは

A 「道の駅の整備」は喫緊の課題です



のざき よしひこ
野崎 喜彦 議員

当町には少子高齢化や人口減少、「道の駅拡張計画」や「地域交通最適化事業」など様々な問題が山積しており、将来に向けたビジョンの形成が必要である。

野崎 6期目を担うにあたり、最優先とする重要課題は。

町長 経済対策と道の駅の整備が喫緊の課題です。

野崎 人口減少対策の具体的な進め方は。

町長 住民が幸せを実感できる施策を実行します。

野崎 「道の駅拡張事業」は町づくりの基本が。

町長 喫緊の課題だと捉えています。



フルドノタイムで活動する
地域おこし協力隊（写真左が吉田隊員）

野崎 「地域おこし協力隊事業」の成果は。

町長 現在は3名で、ICTや英語教育、地域づくり情報発信等で活躍しています。

野崎 「地域イベント強化事業」の進捗は。

町長 プロジェクトチームで内容を検討中です。

野崎 インフラの整備計画は。

町長 道路改良および道路維持、橋梁維持修繕等の計画を策定しています。

学校教育

Q 学校教育の現況と課題は

A 小学校の英語学習にALTを配置しています



ALTによる英語学習
(古殿小学校)

「国家百年の計は教育にあり」といわれる。少ない子どもをいかに健康やかに、優秀に育てていくか。町の将来を見据えた上でも教育環境の充実が優先課題だ。

野崎 「コミュニティ・スクール制度」の設置計画は。

教育長 小・中学校ごとに学校評議員制度を導入しています。

野崎 小学生の英語教育の取り組みは。

教育長 ALT（外国語指導助手）による英語学習を全学年で実施しています。

野崎 「食育教育」の取り組みは。

教育長 給食時の指導や栄養士の食育講話などを行っています。

野崎 「いじめ防止対策」の取り組みと現状は。

教育長 子どもへのアンケートや教育相談を実施しています。

野崎 タブレット端末の普及等により、読書活動が希薄になっているといわれているが、現状は。

教育長 小・中学校とも朝の時間に読書活動を行っています。（小学校は毎週水曜日）

交通安全対策

Q 停止線や「止まれ」標識もない町道交差点の改善は

A 今年度より安全対策として実施します



鈴木 隆 議員

鈴木 停止線が摩耗して見えない所や、「止まれ」標識、カーブミラー設置などの改善優先順位は。

町長 交通量、道路の規格、白線の摩耗度合いを考慮します。

鈴木 県道、国道の一部歩道で、歩行者の通行がままならない雑草等の現況をどう考えるか。

町長 所管土木事務所と打合せを行い、状況改善に取り組みます。

町長の所信表明

Q 第7次振興計画に基づいた町政運営は

A 人づくり分野、健康生きがい分野、安心・安全分野、産業分野を毎年度評価しています



通行がままならない公共施設近くの歩道（松川字横川地内）

鈴木 観光振興により交流人口を拡大すると聞いたが、具体的に何をやるのか。

町長 4月から5月に実施した「フルドノタイム」に多くの方が参加したことから今後も継続し、「大網庵」の利用促進、「道の駅」の整備、「従来」の観光資源も積極的にPRします。

AI活用

Q チャットGPTの試験導入は



業務利用の検討が進められる生成AI

A 様々な利点もありますが、課題もあり、実態把握に努め業務利用の検討を進めます

鈴木 業務にAIを活用する場合、どのように活用するべきと考えるか。

町長 職員が従来手作業で行っていた転記・入力、単純・定型業務を大規模処理する「業務の自動化」、これまで人が対応してきた高度な判断や新たな課題分析を行う等の「業務の高度化」に活用することが見込まれます。

町民福祉

Q 町民生活の現状と今後の町政の方向性は

A 住民の方が幸せと感ずることが大事です



おかべ じゅんいち 岡部 淳一 議員

町長 引き続き岡部町政に、町民福祉の向上に対する責任が負託されました。町づくりと取り巻く社会状況の一端を伺います。

岡部 人口減少がさげられない中での町づくりは。

町長 住民の方が幸せと感ずることが大事だと考えます。

岡部 若者の働く場の確保の具体策は。

町長 企業立地セミナー等に参加し、町のPRを図り、公共職業安定所と連携した情報発信をしています。

岡部 奨学金返還支援（支給や免除）を実施しては。

町長 考えておりません。



改良が望まれる 349 号線（鎌田字長光地地内）

岡部 石川郡町村会長として広域連携の考えは。

町長 できることは連携し、地域振興を図ります。

岡部 国道349号線鎌田地区の改良見通しは。

町長 県と地権者との間で交渉中と聞いています。

岡部 原発の制限見直しと処理水放出についての認識は。

町長 難しい問題であると認識しています。

岡部 すべては古殿のためにはどういふことか。

町長 そういう想いを持っています。

活性化対策

Q 負託された責任における施策実施は

A 道の駅は用地の取得を最優先し、その後設計業務等に取り組みます



整備が期待される道の駅

私は引き続きという観点から、これまで進めてきた施策について伺います。

岡部 道の駅の工程は。

町長 用地の取得を最優先し、その後、設計業務等に取り組みます。

岡部 西渡団地建替はどの段階なのか。

町長 入居者への説明会を開催し、作業スケジュール等を説明しました。

岡部 高齡化などにより地域活動（草刈り等）に参加できない家庭が多くなったが、どうすべきと考えているか。

町長 防犯灯のLED化と同時に9カ所に増設しました。

岡部 中学生議会でも取り上げられた街路灯・防犯灯の増設はしたのか。

町長 各自無理のない中で作業をしていただければと考えます。

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ フルドノタイムで交流人口拡大は

Q 令和5年3月一般質問から

交流人口拡大に向けた「フルドノタイム」ではどのくらいの来町者や効果を見込んでいるのか。

A 町長答弁

27プログラム予定されており、定員に達した場合は参加者が330人ほど見込まれます。様々な体験で町の魅力が多くの方に伝われば、交流人口の拡大につながります。

町に足を運ぶ
きっかけになるね



しみもっちー

平成27年の
中学生議会で誕生！

その後の
対応

「フルドノタイム」は今後も開催予定

4月8日から5月14日まで開催し、町内外から延べ500人程度の方に参加いただきました。今後も開催を継続していきます。



酒米田植え体験



鎌倉岳散策



やぶさめくん
クッキーづくり

様々なプログラムで古殿町を体験する参加者

まちの企業紹介

No.12

● 今回紹介するのは、「**岡部自動車钣金塗装**」の皆さんです。 ●

***会社の設立を教えてください。**

今年7月で45年目を迎えます

昭和54年創業で、多くの地域のお客様に支えられ続けることができ、感謝申し上げます。钣金塗装を中心としたカーメイクを行っています。



工場内の様子

***会社の目指していることは何ですか。**

トータルアドバイザーとして地域に貢献

少子高齢化が進む中で、車はますます必需品になってくると思われます。思いやり、気づかい、感謝の気持ちを忘れずに、車が進化していく中で技術向上に努め、地域の皆さまに車のトータルアドバイザーとして貢献していきたいと思えます。



岡部自動車钣金塗装の皆さん

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

9月上旬

古殿町のホームページからご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第164号
令和5年7月20日発行

16